

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 福祉政策課
 担当名: 政策企画担当
 内線: 3223

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B5	総合リハビリテーションセンター病院部門機能強化事業			一般会計	民生費	社会福祉費	総合リハビリテーションセンター費	総合リハビリテーションセンター運営費	
事業期間	令和元年度～ 令和 2年度	根拠法令	なし			宣言項目			
1 事業概要 個室の増床やリフターの増設等により、病床利用率の向上と脊髄損傷者など重症患者の受入拡大を図る。 ○入札の執行により生じた差金の減額補正 (1) 総合リハビリテーションセンター病院部門機能強化事業 △25,353千円				5 事業説明 (1) 事業内容 個室の増床やリフターの増設等により、病床利用率の向上を図るとともに、総合リハビリセンターの重点支援対象者である脊髄損傷者や難病患者など重症患者の受入拡大を図る。 (2) 事業計画 ア 第1病棟 126号室の内装改修(空調の設置等) イ 第2病棟 HWHを個室2室に改修(リフターも設置)、処置室を個室に改修 203号室: 2床→1床に改修、218号室: 4床→2床に改修 ウ 第3病棟 HWHを個室2室に改修(リフターも設置) 301号室2床→1床に改修、302号室4床→1床+2床に改修、酸素・吸引配管を増設 エ 水治療法室 パーキンソン病患者等の評価・治療室へ改修 (3) 事業効果 ア ベッドコントロールが容易となり、病床利用率目標達成の前倒しが可能となる。 イ リフターや酸素・吸引配管等の増設により、脊髄損傷患者や難病患者の受入拡大が図られる。 (4) その他 ア 県立施設としての役割として「脊髄損傷者」「難病患者」「高次脳機能障害者」を重点的に支援する必要がある。(総合リハビリテーションセンター在り方検討会議<H29年度>の結果を受け、福祉部の方針を決定) (5) 補正予算の概要 入札の執行により生じた差金の減額補正 △25,353千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 病院事業債充当率100%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△25,353	県 債	△25,000					△353	135,438
現計額	160,791		160,000					791	